



2. 目標設定 (2022～2024年)

1) 普及

◇登録人口

- (1) 登録者数を 12,000 人にする。(2020 年は 9,714 人、2021 年は 9,960 人)
- (2) 女子登録者数を 700 人にする。(2020 年は 569 人、2021 年は 604 人)
- (3) 審判登録者数を 6,000 人にする。(2020 年は 4,916 人、2022 年は 4,785 人)

*福島県人口の推移 (2011 年 3 月 2,014,603 人→2021 年 12 月 1,809,371 人 : 10.19%減少) 1 年間で 1.3 万人減少

*登録者数/審判登録者数の比率 (2021 年度 2.08 人を 2022 年度も 2.0 人で現状維持)

◇施設整備

- (1) 人工芝ピッチを各地区に最低 1 面整備する。
- (2) サッカー施設整備助成事業を活用してナイター付きの人工芝ピッチを増やす。

*登録者数/芝ピッチ数の比率 (2021 年度 1 面 163.3 人を 2024 年度には 150 人にする)

2) 強化

◇育成

- (1) 一貫指導体制の確立 (ユース育成部会を中心に育成システムの検証と進化)
- (2) トレセン活動の充実 (各地区トレセンの定期的開催)
- (3) トレセンマッチデーの充実

◇強化

- (1) 県選抜チームの国体出場 (国体出場時は目標ベスト 8 以上)
- (2) U12、U14、U15 カテゴリーの国内遠征

◇指導者養成

- (1) B 級指導者を 150 人にする。(2020 年は 80 人、2021 年は 81 人)
- (2) C 級指導者を 500 人にする。(2020 年は 390 人、2021 年は 405 人) ピーク時から減少
- (3) D 級指導者を 750 人にする。(2020 年は 616 人、2021 年は 614 人) 600 名前後で推移

*登録者数/指導者数の比率 (2011 年度 8.58 人を 2024 年度には 8.0 人に近づきたい)

3) 基盤

- (1) 事務局体制の強化
- (2) 地区協会との連携
- (3) 障がい者スポーツ団体との連携 (福島県障がい者サッカー連盟)
- (4) スポンサーの獲得
- (5) 福島ユナイテッド FC へのサポート体制の強化
- (6) いわき FC へのサポート体制の強化